

事業所名

KIDSゆらりん

支援プログラム

作成日

2025年

3月

10日

法人（事業所）理念	自宅や地域で自分らしく療養生活を送りたいという方の希望に寄り添うチームであり続けます。他の事業所で受け入れが難しい重度の利用者さんであろうとも全身全霊で寄り添い支えます。				
支援方針	その子らしくその親らしくその生活を支えたい、病気があってもなくても障害があってもなくてもすべての子どもたちに「育ち」の場所が必要で「遊び」の場所が必要であるという方針のもと支援しています。				
営業時間	9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	それぞれの体力ベースを把握し、無理のない範囲で活動を促しています。個人の体調レベルを見極められるように保護者や療育センター・学校、主治医往診医などの関係機関と情報共有しながら、安心安全に過ごせるように努めています。意思表示が困難である子どもの障害特性に配慮して小さな表出から心身の異変に気付けるように心掛けています。			
	運動・感覚	機能訓練指導員に習って個別に合わせた姿勢保持と運動動作の補助を実施しています。粗大運動や五感で刺激を受けれるような内容の活動を計画実施しています。合わせて四季を感じてもらえることを大切にしています。個別には得意な刺激の入り方を生かしながらも、苦手な部分も補えるように支援しています。			
	認知・行動	その子の認知の特性に合わせた遊びを実感できるように、また自分で選択できる機会を出来る限り設けて、様々な経験ができるように心掛けています。繰り返し行うことで、積み重ねができるように支援しています。その子の感覚や認知の特性を踏まえ、情報が適切に伝わり処理できるように支援します。			
	言語コミュニケーション	個々のコミュニケーション方法に合わせてスタッフが代弁や仲介に入り、仲間とのコミュニケーションを広げていくよう関わっています。その子に合わせて、音やサイン、文字など活用して環境の理解と意思の疎通が出来るように支援しています。当施設は言語でのコミュニケーションが難しい方が多いので、保護者からのアセスメント、ご本人の観察、信頼関係の構築を経て、僅かな表出行動も見落とさず気持ちのやりとりに繋がられるように心掛けています。			
	人間関係社会性	いろいろな人と関わりを持てるような場を設定しています。仲間と一緒に活動を通して様々な気持ちを味わえるように関わっています。双方の表出をスタッフが伝えながら進めています。集団に参加するための手順やルールを感じてもらい、協働遊びを通して社会性の発達を支援しています。			
家族支援	保護者の方の思いを尊重し寄り添いながら、一緒にその子らしさや育みを共有しています。父や母に加えてご兄弟や祖父母など家族全体の支援をと思っています。	移行支援	児童発達支援→地域の幼稚園や保育園に移行支援した実績があります。相談支援員の方を通して情報提供しています。必要があれば直接でのやりとりも可能です。		
地域支援・地域連携	他の児発・放デイ等の事業所、地域療育センター、児童の所属(保育園・幼稚園・学校など)、訪問看護などと連携して支援に繋がっています。	職員の質の向上	毎月の事業所（法人内）研修実施しています。職員が希望する外部研修への参加に派遣しています。適宜個別ケースのカンファレンスを行っています。急変時のシミュレーション訓練を行っています。		
主な行事等	初詣、書初め大会、バレンタイン、同法人内の敬老会イベント、運動会、ハロウィン、Xmas会、岡上小学校学童クラブとの交流会など				